

# 旧志免炭鉱跡の立坑櫓

## 志免町に無償で譲渡

### NEDOが町と契約調印

志免町志免の旧国鉄志免炭鉱跡に残る立坑櫓たていかりを、所有者の新エネルギー・産業技術総合開発機構（NEDO）が同町にて無償で譲渡する契約調印式が二十八日、町役場で行われた。町は立坑櫓周辺にフェンスを設け、人の立ち入りを禁じる「見守り保存」の方針を打ち出している。

件として「公共・公益の用に供すること」を求め、無償譲渡は感慨深い」と述べた。同町は四月中旬に臨時議会を開き、フェンスの設置費用として約千

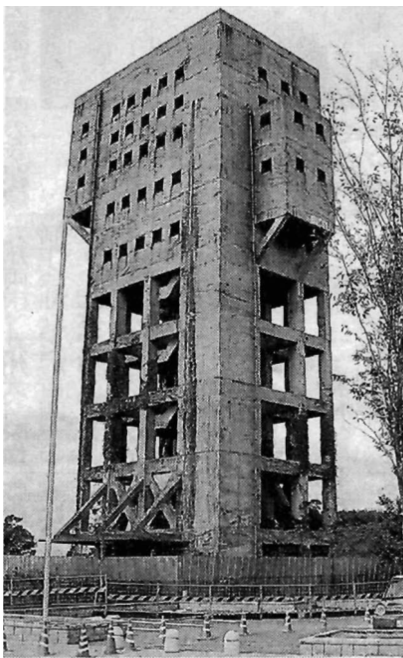
するよう活用したい。町長が昨年十一月の町議会全員協議会で、見守り保存の考えを打ち出し、NEDOに無償譲渡を求めた。

る。

志免炭鉱の立坑櫓は一  
九四三年から六四年、石  
炭を採掘する際に使われ  
た建造物で、高さ五三・  
六尺。町のシンボリック  
存在となっている。保存か  
解体かで揺れたが、南里

譲渡は四月一日付で、

同町の南里辰己町長とNEDOの松井佳樹・資産管理部長が調印した。NEDO側は無償譲渡の条



志免町に無償譲渡される  
旧志免炭鉱跡の立坑櫓